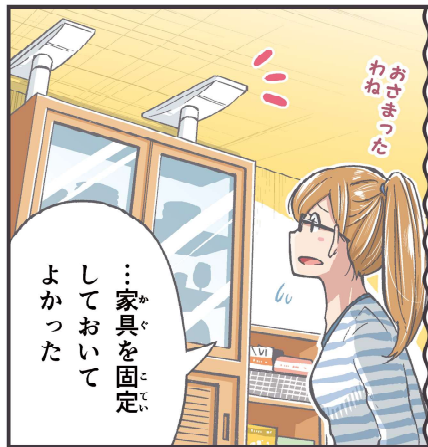
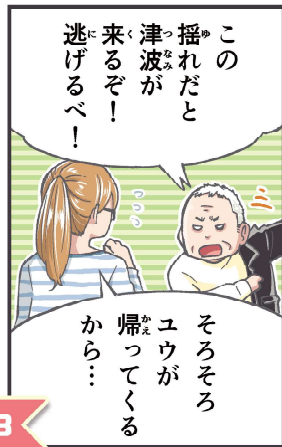
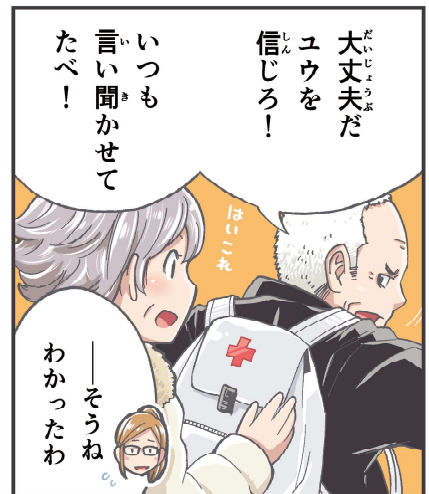
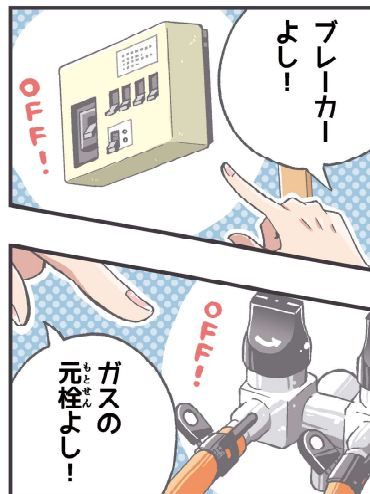




※2



※3



※2

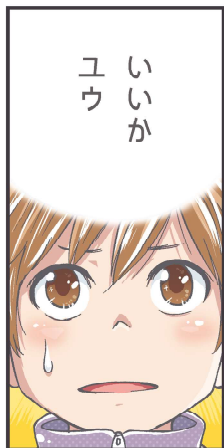
震源が近いときは、津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。津波の危険がある場所にいるときは、揺れがおさまったら、津波警報・注意報を待たずに急いで安全な場所へ避難を始めましょう。

※3

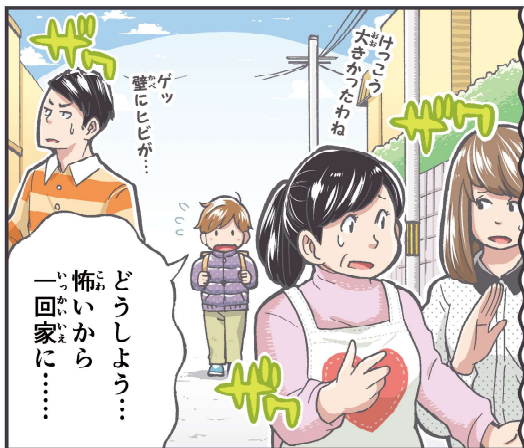
内陸の町など、海や川が十分に遠く、家が無事で、地域に火災の危険がなければあわてて避難する必要はありません。火の手や煙が見えないかなど、周囲の様子をよく確認しましょう。

※4

家族一人ひとりの安全確認を待たずに、まずは、それぞれ安全な場所へ避難することを、日ごろから家族で話し合い、約束しておきましょう。



いいか
ユウ



どうしよう…
怖いから
一回家に…

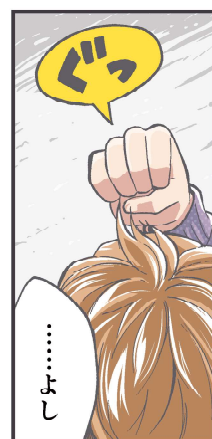


ひええ〜

た
お
倒れやすいものから
はな
離れてうすぐまる!



僕も高台に
行こう!



クッ

……よし



もしもの時は
高台に集合!
それが我が家の
ルール
だからな!

地震のあとには
津波が来るかも
しれないから
逃げるんだぞ!
一人でもだ!

※4



つ
く
え
あ
し
机の脚は
対角線で支える!

ぜ…全員
机の下に
隠れろっ!

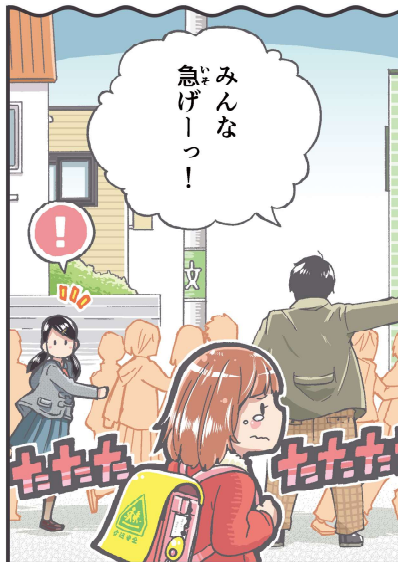
揺れが
おさまるまで
じっとして
いるんだ!



一緒に
逃げよ!

手つないで

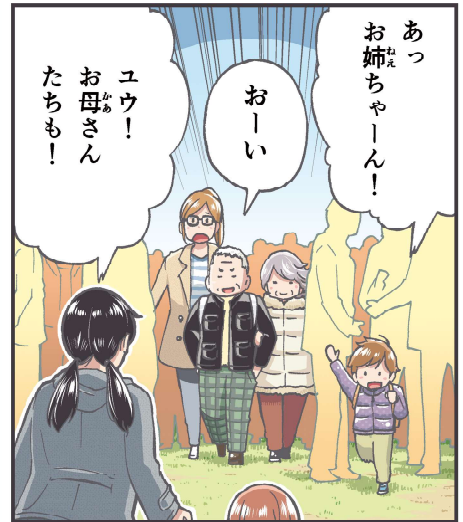
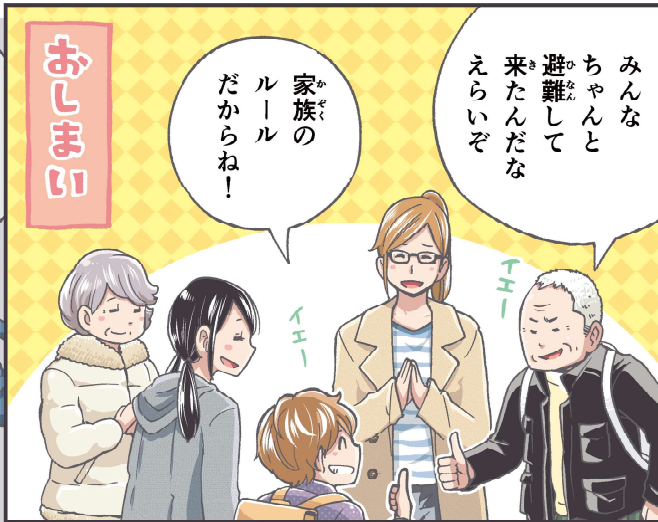
うん
ありがとう!



みんな
急げーっ!



とりあえず
おさまったな…
津波が来るから
避難場所の
高台まで
すぐに避難だ!



※5 津波は河口から河川をさかのぼり、堤防からあふれて、海から離れた地域も浸水することがあります。海から離れているからといって油断せず、河川から離れ、より高いところなど安全な場所へ避難してください。

※6 津波は何度も繰り返し襲ってきます。第一波が最大とは限らず、第二波以降に大きな津波が来る可能性もあります。第一波の津波が低かったからと安心して、家まで荷物を取りに戻ったりしてはいけません。

津波からいのちを守るために（事前の備え）

住んでいる地域のハザードマップ（防災マップ）を見て、「自宅から避難場所へのルート」「職場や学校から避難場所へのルート」「生活圏にある津波避難場所、津波避難ビルの場所」を確認しておきましょう。

ワイワロー
やとるよ

制作：ヤマモトマナバ
北海道旭川市出身の
まんか家だよ！